別記第五十一号の八様式（第三十六条の七関係）

日本国政府法務省	番　　号

報酬を受ける活動の許可申請書

出入国在留管理庁　　出入国在留管理局　　支局　主任審査官　殿

出入国管理及び難民認定法第44条の５第１項の規定により、監理人の同意の上、次のとおり申請します。

１　被監理者身分事項等

（１）氏　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 男 女

（２）生年月日 ＿＿＿＿＿＿＿＿　（３）国籍・地域 ＿＿＿＿＿＿＿＿

２　活動内容（労働条件を明示する書類を添付すること。）

（１）勤務先の名称 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（２）勤務先の所在地 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（３）勤務先の電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（４）職務の内容 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（５）報酬額（月額） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３　日本で同居している者　□　有　□　無

※「有」の場合は、以下の欄に記入すること。

（１）①続柄 ＿＿＿＿　②氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

③生年月日 ＿＿＿＿　④国籍・地域 ＿＿＿＿＿＿＿＿　⑤職業 ＿＿＿＿

（２）①続柄 ＿＿＿＿　②氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

③生年月日 ＿＿＿＿　④国籍・地域 ＿＿＿＿＿＿＿＿　⑤職業 ＿＿＿＿

（３）①続柄 ＿＿＿＿　②氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

③生年月日 ＿＿＿＿　④国籍・地域 ＿＿＿＿＿＿＿＿　⑤職業 ＿＿＿＿

（注）用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とする。

4　住居の賃貸借契約の締結の有無　　□　有　　□　無

※「有」の場合は、以下の欄に記入し、賃貸借契約書の写しを添付すること。

（１）賃貸人の氏名（法人や団体の場合はその名称）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（２）賃貸借契約期間＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（３）賃料＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

5　現在の所持金（預金額を含む。）

（１）日本円＿＿＿＿＿＿＿＿　（２）日本円以外の外国通貨＿＿＿＿＿＿＿＿

6　各種機関・団体・監理人等からの金銭援助の有無　　□　有　　□　無

※「有」の場合は、以下の欄に記入し、援助額等が確認できる資料を提出すること。

（１）氏名・名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（２）援助の内容＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

7　申請の理由

以上の記載内容は事実と相違ありません。
申請人（代理人）の署名／申請年月日

年　　月　　日

（注１）　申請書の提出は地方出入国在留管理官署に出頭して行わなければなりません。
（注２）　申請書の各項目は全て記載してください。また、記載欄が足りない場合は、別紙を提出してください。
（注３）　申請書の各項目について、必要な事項を記載せず、又は虚偽の記載をしたときは、報酬を受ける活動の許可が認められないことがあります。

※ 監理人記載欄

被監理者が上記の申請をすることに同意し、被監理者が報酬を受ける活動の許可を受けた場合は、当該活動について私（監理人）が監理することを誓約します。

監理人の署名／署名年月日

年　　月　　日